



生徒の明るい未来のために

米津 武志 (今津教室)

皆さん、初めまして。今年の5月より開智総合学院に勤務している米津武志と申します。大阪生まれの大阪育ちですが、昨年まで栃木県の宇都宮市に18年間住んでおりました。栃木という大阪の方にはあまり馴染みがないかもしれませんが、宇都宮の餃子や日光の世界遺産、那須地方に点在する泉質のよい温泉など見どころがたくさんあります。

機会があれば、ぜひお立ち寄りください(笑)。その以前住んでいた栃木でも進学塾に勤めていましたが、主に小学生や中学生を対象に中学受験や高校受験の国語や社会の指導をしております。

そこで今回は、私が特に力を入れてきた国語について少しばかりお話しいたします。ところで皆さんは国語という教科にどのような印象を持たれていますか?「説明文がよく分からない。」「そもそもあまり読書をしないので、興味がわか

ない。」などと肯定的な感想よりも否定的な意見を聞くことが多々あります。しかし皆さんに理解して欲しいのは、国語という教科は当たり前ではあります、「私達の生活の一番の基本をなす教科である。」ということです。生徒の皆さんがこれから成長する過程の中で、国語力を必要とする様々な場面に出くわします。例えば大学受験の受験校を選ぶときに、とにかく偏差値の高い大学を目指すのも一つの方法ではあります。しかし単に高い偏差値の大学を目指すだけではなく、その大学の強み(研究内容・建学精神・就職実績など)の情報を整理し、他の大学と比較しながら相対的に受験校を決めるのも極めて優れた考え方の一つだと思います。また社会に出て、お金と関わることが多くなってきます。そこで必要とされるのが世界や日本の経済のこと、税金のこと、会社の収支(儲かっているあるいは損している)のことなど、様々な情報を仕入れ、それを自分の頭の中で整理していく力なんです。

大学の選び方もお金のことも一見国語の力とは無縁のような気がするかもしれませんが、現

代の社会において様々な媒体(新聞・書籍・ネットなど)から情報を仕入れ、その情報を取捨選択し、自分の血肉にしておくためには国語の力が非常に大切です。

現代の日本においてはこれまであまり考えられなかった予測不可能な出来事が次々におこっています(コロナ禍・戦争・少子高齢化等々)。不透明な世の中が進む中において、若い人々には難しい選択を迫られることが多々あるでしょう。このような時に学生時代に習得した国語の力は大いに役立つと思います。

自ら情報を収集しその状況に応じてなるべくベストな選択を行い、またその選択の結果を検証し、次のステップへと進んでいく。一見難しいように思われますが、訓練を積んでいけば大丈夫です。生徒の皆さんは、まずは塾の授業をしっかり受けてください。

私の授業で将来のことを考えつつも、文章そのものを味わい、まとめる力(一般化)・細かく分ける力(具体化)・因果関係をたどる力のような受験にも社会にも役立つ内容を展開していきたいと考えております。

本気で頑張る皆さんを、僕も本気で応援します。

山本 真義 (高殿教室)



皆様こんにちは!5月

月から開智総合学院の講師となりました。山本真義と申します。この度、GROWINGに掲載スペースをいただきましたので、自己紹介と、生徒の皆さんにお伝えしたいことを書かせて頂きます。まずは、僕の経歴について、簡単に紹介させていただきます。現在31歳で、出身大学は京都大学法学部、出身中学・高校は東大寺学園です。特に中学・高校時代は、勉強と部活(卓球)に打ち込み、我ながら、模範的な学生生活を送りました。大学卒業後の進路にはかなり迷い、医療事務職も経験しましたが、自分が好きな「勉強」を仕事にしたいと思い、3年ほど前に、教育業界に足を踏み入れました。前職では個別指導塾の学校長をしておりました。

さて、そんな勉強好きな僕ですが、小学4年生までは、そうではありませんでした。当時僕は塾に通っていたのですが、特に目標も持っておらず、小学校より難しい塾の勉強が辛くて、恥ずかしながらも、宿題をサボって先生に叱られることもありました。

僕が勉強に本気になる転機が訪れたのは、5年生の時でした。塾に新入生が来たのですが、彼がたいへんな努力家で、僕はあつという間に追い抜かれてしまいました。不真面目だった僕ですが、彼の一生懸命勉強する姿に、なにか心を動かされるのを感じました。彼と友達になり、どうしてそんなに頑張れるのか聞くと、「私立に進学したいけど、家があんまりお金持ちじゃないから、授業料が無料になる特待生になって親を喜ばせたい」と教えてくれました。その言葉に、僕はまた大きく心を動かされました。塾に通っているのに勉強をサボる自分が恥ずかしくなり、彼を見習いたい、そして彼に追いついてテストで勝ちたいと、心から思いました。それ以降、僕は彼を一方的にライバル視して、がむしゃらに勉強するようになりました。勉強は、出来るようになれば楽しく感じるもので、気付けば勉強するのが当たり前の習慣になっており、難関校にチャレンジできるくらい成績も上がっていました。

ちなみに彼は、名だたる私立に多数合格しつつも、有言実行で、特待をもらえた地元の私立中学校に進学しました。これまたちなみにですが、僕は1回だけ、実力テストで彼に勝ったことがあります。確か受験2か月前頃のことでしたが、僕は跳びはねるくらい嬉しくて、受験まではしゃ

いで勉強していたのを憶えています。

当時は意識していませんでしたが、「彼に勝ちたい!」と本気で思い、勉強の目標を持ったことが、僕が変わるきっかけでした。このことは、今の僕の教育理念の根幹です。

生徒の皆さんは、ぜひ一度「なぜ勉強するのか?」について、真剣に考えてみてください。そして、自分が本気になれる目標を見つけてください。「将来〇〇になりたい!」でも「隣の席のあいつに勝ちたい!」でも、「△△高校に行きたい!」でも、「お父さん・お母さんに褒められたい」でも構いません。「自分の一番の目標は勉強じゃないんだけど…」という人も、いるかも知れません。その人は、一番の目標のために、勉強はどれだけ必要か、考えてみてください。たとえば「スポーツ推薦のために、内申で□□というラインを越えなきゃいけない」とか、「海外で困らないように、英語を話せるようになりたい」とか、勉強に関する目標もきっと見つかるはずですよ。その目標達成に向けて、全力を尽くしてください。

本気で頑張ることは、それ自体、とても価値のある行為です。そして、本気の頑張りや、何か結果に結びついた時は、最高に嬉しいですよ。本気で頑張る皆さんを、僕も本気で応援します。開智と一緒に頑張りましょう!

生徒と保護者と先生の共有ニュースレター



【本 部】
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662

【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984

【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722

【高殿教室】
城東区成育 5-22-10-2F
TEL.06-6786-1008

【エニグマ】
中央区谷町 9-4-5-3F
TEL.06-6777-1563

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000

【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117

【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467

【カイチ予備校】
城東区今福西 1-10-17
TEL.06-6935-2220

【万緑会】
天王寺区上本町 6-9-10-3F
TEL.06-6772-5011



高木 秀章 (塾長)

受験勉強のリミットは後3カ月。 今すぐ、受験勉強にとりかかろう!

私がこのGROWINGを書いているのは6月28日、なんと今日大阪は観測史上最速で梅雨明けしてしまいました。梅雨明けって、そもそもそんなに雨が降ったかなと思うのですが、今年の夏は、戦争の影響の電力不足だけでなくカラ梅雨による水不足も心配です。ちなみに、今年の梅雨明けは7月17日ですから、今年は19日も早く夏が来たことになります。

ちょうどこの時期、中3生は目標校を決定する三者懇談会が始まっています。中には志望校と自分の実力との差に気が遠くなる人もいるかも知れません。しかし、その差を限られた時間で埋めていくのが受験勉強です。

ここで注意してもらいたいことが2つあります。

1つは、皆さんが思っている以上に時間がないということです。

確かに受験まで残り7カ月。まだ余裕と考えている人もいるかも知れませんが、実際には7月～9月の3カ月で受験勉強を終了しなければ志望校合格どころか、志望校の受験すらできない事態になります。

その理由を下記で説明します。

下の7月～受験までのスケジュールを見てください。

	学校テスト	模擬テスト	英検
7月			第1回英検二次試験
8月			
9月	実力テスト(上旬) 大阪府チャレンジテスト 中間テスト(下旬)	第4回五ツ木模試	
10月	実力テスト(上旬)	第5回五ツ木模試	第2回英検一次試験
11月	実力テスト(上旬) 期末テスト(下旬)	第5回進研V模試 第6回五ツ木模試	第2回英検二次試験
12月		私立決定 五ツ木模試(特別回)	
1月	実力テスト(上旬) 学年末テスト	第6回進研模試	第3回英検一次試験
2月		私立入試(2/10)	第3回英検二次試験
3月		公立決定 公立入試(3/9)	

英検を除いて9月～11月の3カ月間に計10回のテストがあります。

これらのテスト結果が、受験校決定に使われるデータとなりますが、特にこれらの中で重要視されるテストが、10・11月の「実力テスト」と「五ツ木模試」です。実力テストは、中学校の私立訪問のデータとして志望校を受験できるかどうかの判断基準として使われ、塾では五ツ木模試の結果を同様に判断基準として使います。

可否を決定する受験は2月・3月ですが、受験校を決定するテストは、10月・11月にある。

つまり受験までは7カ月あるが、志望校受験を決定するテストまでに勉

強できる時間は7・8・9月の僅か3カ月しかないということです。

更に、文理学科志望の人達にとって公立入試の英語で80%の得点が確約される英検2級取得は内申点や実力テストの偏差値と並び、必須条件になりつつあります。これも10月・11月のテストで合格しておきたいところです。ここでダメなら次回英検は1・2月。ここで受験し合格する生徒もいますが、この時期は学年末テスト、私立入試と重なりテスト日程的にも学習時間確保の面においてもタイトになります。

とにかく、9月からは結果が求められるテストに追われまくる。

ですから、「夏期講習から」ではなく「今すぐ」頑張ってください。今からやる人とやらない人で、秋からのテスト結果で大きな違いが出てきます。

そして**2つ目の注意点は、志望校合格という目標を見失わずに勉強すること。**例えば、夏期講習に出されるやり切り課題。志望校合格を目標に努力する人は、常に「ここが模擬試験に出たら、入試で出題されたら…」と意識しているので、自ずと不理解箇所や暗記があやふやな箇所を潰す、実力が積み上がる勉強をします。一方で「やり切り課題が進まない」と先生に叱られるから…。」と先生に叱られないことが勉強の目的になっている人は、とりあえず期日に提出すれば良いという気持ちが優先し、肝心の内容理解や暗記の徹底が疎かになります。場合によっては、答えを写して提出する人もいるかも知れません。

将来に繋がる志望校合格を見据えて努力するのか、目先に囚われ勉強するのか。どちらの心構えを選択するかで結果が大きく違うのは当然です。

受験は人生において、自分の努力で自分の人生を選択できる最大のチャンスだと私は考えています。今の君たち一人一人が、自分と誠実に向き合い努力を重ねることで、君たちの人生は確実に明るいものになっていきます。

どうか自分から逃げないで努力を続けてください。

若くて柔軟なあなたたちは可能性の塊です。志望校までの偏差値が遠くても、本気で取り組みれば必ずその差を埋めることはできます。先生達はそのため指導しているのです。

いよいよ夏期講習がはじまります。先生達も精一杯サポートします。みんなで一丸となって頑張りましょう。

【保護者の皆様へ】

日頃は当塾の指導にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。夏期講習は長丁場ですので、子供達の体調面にはくれぐれもご注意ください。体調を崩し講習会を欠席された場合、欠席分の宿題と補講が負担となり、勉強のリズムを崩す原因になりかねません。冷房対策として長袖の上着の持参と、深夜の勉強を避け、朝に勉強することを意識していただければと思います。ご心配もおありだと思いますが、精一杯指導してまいりますので宜しくお願いいたします。

Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

「限界値」を引き上げる

富田 昌史 (エニグマ)

もう夏休みという時期ですが、皆さんはどうお過ごしでしょうか。

エニグマは、東大・京大をはじめとした、難関大受験専門の学習塾としてスタートして3年が経ちましたが、現在40人の生徒が所属しています。またここ最近では医学部を志望する生徒が増えてきており、現在高校生では6名が志望しています。教室が3つと自習スペースがあるだけの小さな教室なのですが、1クラス最大6名の少人数授業の中で、生徒たちはきっちりと力を伸ばしています。

エニグマでの授業

エニグマでは、一般的な中高一貫校の進度と同じく、中学1年から2年前半の間で中学範囲が終了し、その後、難関大数学・英語講座がスタートします。この難関講座で重要視しているのは何よりも「思考力を高める」こと。「思考力」と言われると、「難しい問題を解かねば」とイメージされるかもしれませんが、私達はそうとは考えていません。「思考力」は、基礎的理解(易しい問題が解けるということではなく、根本に関わる概念の理解)を深めることによってこそ高められると考えています。そのような思考力を高める授業で中2から高1の間でじっくりと力をつけてもらい、高2、高3では余裕を持った受験勉強をすすめていきます。



▲高3生ならカメラも気にならない?

新入生の姿

今年から新入生も多く入ってくれましたが、みんなよく頑張っています。特に頑張っているのは、明星中学のM君。テスト前ではない期間でも、学校帰りに1時間ほど自習に来て、家に帰ってご飯を食べて、もう一度自習に来てくれます。「そこまで詰めすぎなくてもいいよ」と声



▲数学の授業中は、みんなの頭はフル回転です!

をかける時もあるのですが、その週に分からない所を解決できるのが楽しいのと、同じ学校の先輩たちが毎日来ているのを見てやる気が出たそうです。

高2・高3の生徒達はさすがなもので、自分自身の学習リズムを身につけ、当たり前のように毎日勉強しています。また時には、後輩に勉強法をアドバイスしてくれることもあります。「エニグマの自習スペースは落ち着いて勉強できる」、「先生とも距離が近く質問がしやすい」といった声もあるのですが、何よりこのような上級生たちが良い雰囲気を作ってくれているのだと思っています。



▲学校帰りにエニグマで自習に励む先輩達

明確な意図を持って勉強する

長期休み、特に夏休みは、日頃の学校での授業を気にせず、自分の勉強に取り掛かることができるチャンスです。特に受験生は、明確な意図をもって勉強する事が大切です。そのため、エニグマでは「この3日間は、この教科の、この単元だけをつぶす」という勉強方法を勧めています。例えばこのような形です。

- ① ある3日間:「軌跡と領域(数学IIの単元)」の問題を全て解けるようにする。
- ② 次の3日間:「2017年の阪大英語」をしっかりと解く

どうしても焦ってくると、あれもこれもと手を出しがちですが、中途半端にやればやるほど、やった事が無駄になります。特に過去問は数をこなす事を優先しがちですが、解説を読みながら、「自分が何を考えて解いていたか」まで振り返る事が大切です。たった1年分でも、そこまではやるには3日はかかりますが、ただ5年分の問題を解く



▲英語の過去問特訓中!

よりもはるかに得られるものは大きくなります。

自分の限界値を引き上げる

では、「どうやって3日間勉強すればいいのか」という方法が疑問に浮かぶかもしれません。エニグマではよく「陸上の選手がタイムを上げるためにどうするか」という方法を、対馬先生がよく話されます。陸上の世界ではタイムを縮めるために、「記録保持者と紐でつなぎ、同じスピードで走る」という事をするそうです。そうすることで、速く走るリズムやストライド(足の歩幅)を体感することができ、「速く走るということはこういうことか」という事を実感することができます。こうして「体感する」ことで、自分の限界を突破でき、タイムを縮める事ができるそうです。

学習においても同じようにレベルが高い人の学習法を体感していくことが重要で、例えば下のような方法で学習を進めていきます。

- ① 一日目は、解いた後に解説を聞き、理解する
 - ② 二日目も、同じ問題を解く。当然早く解ける
- 非常にシンプルな方法なのですが、こうすることで、「できる人はこんなスピードで解いていたのか」を体感することができ、自分だけでは難しい、己の限界値をあげるということが出来ます。

難関大、特に医学部を目指すエニグマの生徒の中には、初めは「行きたい」と口に出せない生徒も多かったです。なぜなら、「自分では無理だな」と、己の限界を決めてしまっていたからです。ですがレベルの高い学習をしている先輩の姿を横目で見ながら勉強し、一つ一つ自分の限界値をあげていく中で、自信をもって本来持っていた目標に挑んでくれるようになってきています。

夏は、学年を問わず、大きく力を伸ばせる時期です。この貴重な時間を最大限に活かすために先生たちも全力でサポートするので、皆さんも一緒に、ひとつずつ限界を超えていきましょう。



Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

いよいよ夏期講習! この夏はチャレンジする夏に!

井上 陽平 (関目教室)

7月に入り、今年も暑い季節がやってまいりました。みなさんこんにちは。7月生まれの夏男こと、関目教室の井上です。コロナの影響はまだまだ残りますが、世間では様々なイベントが解禁され、学校でも部活動が本格的に再開しています。ウイルス感染には気を付けつつも、新しいことを楽しみたい。体験したい。…チャレンジしたい。そんな前向きな風潮を感じます。「チャレンジ」といえば、カイチでは子供達が新しい体験にチャレンジする、そんなチャンスを豊富にご用意しております。今回はそれらについてご紹介させていただきます。

「数に強くなる」チャレンジ —そろばん、パスカルキッズの無料講座—

「子供が算数に苦手意識を持ってしまうか不安…」
「子供の地頭を鍛えてあげたい…」
カイチでは、子供達の「考える力」を養成するために、

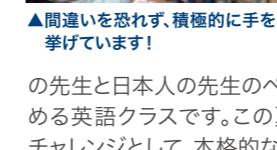


▲「できた」が自信につながります!

「そろばんクラス」「パスカルキッズ」を開講しています。そろばんクラスでは、短時間で問題に入り込む集中力を、パスカルキッズではじっくり試行錯誤しながら問題を解く解決力を育てていきます。それぞれのクラスで、夏期の無料講座を実施しますので、実際にお子様はどう変わるのか、ぜひこの機会にお試ください。

“Challenge!! ~I can do it!” —TALKING KIDSのサマーレッスン—

カイチが子供達に贈る最大のチャレンジ。それは、「TALKING KIDSのサマーレッスン」です。TALKING KIDSはネイティブの先生と日本人の先生のペアティーチングで進める英語クラスです。この夏、子供達の新しいチャレンジとして、本格的な英語をはじめませんか?「ネイティブの先生との授業について



▲間違いを恐れず、積極的に手を挙げています!

けるか不安…」ご安心ください。TALKING KIDSでは日本人の先生がサポートに入り、何より楽しく、英語が好きになる授業を心がけています。さらにレッスンの最終週では、先生たちと理科実験を楽しむイベントも。英語が楽しい。続けていきたい。頑張りたい。子供達がそう思えるようなチャレンジをご提供いたします。

「夏休みの宿題+α」にチャレンジ —小学部の夏期講習—

カイチでは、小4~6の子供達にむけて、国語・算数・英語の夏期講習を実施します。小4以上になると子供達の学力差が大きくなり始めます。勉強が得意な子にとって学校の授業は物足りなく感じ、苦手な子にとっては先生が何を言っているのかちんぷんかんぷん。カイチの小学部には、そんな子供達が、「よりハイレベルな学習をするため」「小学生のうち勉強を得意になるため」にやってきます。小学部の夏期講習では、前学期・前学年の復習内容を行います。わかりやすく楽しい授業と、実力がつく問題の演習・解説。それらを通して、中学校進学につながる知識と学習習慣を養成します。夏休みの宿題だけじゃ物足りない。もっと勉強を頑張りたい。そんな意欲ある子供達のチャレンジを、カイチは応援します。



▲成績が少しでも上がるよう、先生達もしっかりと授業準備をしています。

「自分の勉強」に多くの時間を割き、一つでも多くの弱点を克服できた人は、成績がぐっと伸びていきます。周りと差をつけることもできます。そのためにも、テキパキと「やらねばならないこと」にケリをつけて、少しでも多くの時間を「自分の勉強」に充てていきましょう。「自分の勉強」をどう進めるかは、先生達と相談して決めていきましょう。先生との距離が近い個別クラスもおすすめて。夏期講習の約1ヵ月。「勉強漬け」の日々チャレンジしてみませんか?

「勉強漬け」にチャレンジ —中学部の夏期講習—

「夏は受験の天王山」と言われます。天王山とは、勝負の分かれ目を例えた表現。つまり、夏の勉強が入試の結果を大きく左右することです。受験を控える中3生にとってはもちろん、中1・2生にとっても、翌年の成績にまで大きく



▲努力が成果に現れた時、この上ない達成感を味わえます!

かかわる重要な季節。それが夏です。カイチの集団クラスでは、中1・2で約39時間、中3はなんと約67時間の授業を行います。それだけやるなら成績は大丈夫。そう思っているあなた。安心するのはまだ早いのです。夏の勉強で大きく成果が出る人。それは「自分の勉強に専念できた人」です。そもそも、ただ受けているだけの授業、やらされているだけの課題では、成績は伸びません。塾の授業や課題、学校の課題をやることは意味があります。しかし、同じ時間を費やし、同じ量の問題を解いても、「なぜその授業を受け、問題を解いているのか」を意識している人とそうでない人とでは、成果は大きく異なります。そして、授業や課題を何のためにやっているかを理解して取り組んだ上で、自分にとって必要な勉強を行うことが大切です。塾の授業と課題は基本セット。それらで一定の理解を得た上で、自分に残っている弱点を探し、克服する。このような「自分の勉強」に多くの時間を割き、一つでも多くの弱点を克服できた人は、成績がぐっと伸びていきます。周りと差をつけることもできます。そのためにも、テキパキと「やらねばならないこと」にケリをつけて、少しでも多くの時間を「自分の勉強」に充てていきましょう。「自分の勉強」をどう進めるかは、先生達と相談して決めていきましょう。先生との距離が近い個別クラスもおすすめて。夏期講習の約1ヵ月。「勉強漬け」の日々チャレンジしてみませんか?

最後に

夏休みは、目一杯楽しむもの。僕はこの考えに大きく賛成です。夏休みには、旅行や部活など、他にも楽しいイベントがたくさんあります。カイチは、その「楽しい」の中に、チャレンジしてやり遂げた「充実感」を付け足したいと考えています。一日の活動を精一杯やり抜いて、「今日もよく頑張った!」と自分を労って寝ましょう。熱中症やコロナにも気を付けながら、充実した夏休みを一緒に送りたい。そんな意欲ある子供達のチャレンジを、カイチは応援します。



▲一緒に充実した楽しい夏を過ごしましょう!